

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第21号 令和6年2月6日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 174
PTA数 128

子供も教師も学ぶ～椿原先生の授業

■1月22日(月)、教授法創造研究所の椿原正和先生(本校に以前勤務されていましたが)を招き、5年生対象の授業と教師対象の講演をしていただきました。

椿原先生は、全国学力・学習状況調査問題を解くことを通して、「情報処理スキル」を身に付ける授業をされました。数ページに渡る問題です。読むだけでも大変です。何がどこに書いてあるか、分からなくなります。全国の6年生が大苦戦した問題です。

授業では、「○で囲む」「線で結ぶ」といった作業を行うことで、子供たちは必要な情報が分かるようになっていきました。最終的には全員が問題が解ける状態になりました。

このような作業は、テストだけでなく、様々な文章や資料を読む時に使うことができます。つまり、必要な情報を探し、関連を捉えることができる「情報処理スキル」ということです。

授業後には、子供たちから「こんなに分かりやすく問題が解けるなんて思いませんでした」「初めて記述問題を自分の力で解ききることができました」などの感想がありました。

■授業後には、講演を行っていただき、授業改善の新しい視点や方法を学ぶことができました。また、体験や読書、暗唱の大切さについても、話をされました。

今後の授業改善や学力向上に生かしていきます。



■昨年12月に実施した熊本県学力・学習状況調査の結果が分かりました。

学校全体の正答率は次のとおりです。ここ数年、上昇傾向で、学力が伸びています。

国語：73.3% (県平均比で+4.2%) 算数：73.2% (県平均比で+2.5%)

学力調査は、子供たちの状況を把握するだけでなく、教師の授業改善に生かすために行われます。本校でも、問題分析や結果分析等を行い、授業改善に生かしていきます。また、それぞれの子供の苦手克服の学習を進めていきます。

2月29日(木)の学級懇談会で担任から詳細をお話する予定です。

個人票は今週末に配付します。「ほめる、励ます」の声かけをお願いします。

56年情報モラル教室・北小との交流

■2月1日（木）には、56年生の情報モラル教室がありました。北小の子供たちと合同の学習です。インターネットの利用の仕方について、楽しく学びました。その中で、ネット依存についての話がありました。次のような状態は心配だとのこと。子供たちから、これは当てはまる、などと言っていました。

- 1、毎日続けて2時間以上ネット、SNS、ゲームを利用している。
- 2、ゲームやネット、SNSをしていない時にイライラや不安な気持ちになる。
- 3、やめたい時にすぐにやめられない。
- 4、してはいけないときに使ってしまう。

また、ネット依存にならないために、次のようなことが大切だと話がありました。

- 1、けじめをつける＝自分で約束を守る
- 2、友達との間で適切な使い方を考える＝自分や友達のためになる使い方を考える
- 3、時間を決めて使う＝今、自分にとって何が大切か考える

子供から「時間がきたら電源が切れるようになっている」との声がありました。

一方、「ゲームで課金している」や「夜の12時を超えることがある」などの声もありました。

各家庭で、ルールや設定などを話し合っ
て決めることが大事でしょう。

■北小との交流学習は、56年ともに算数を行
いました。どちらも難しい問題を一つ一つ考
えていけば正解にたどりつく内容でした。

考えを交流し合う姿がありました。



作品展～よく工夫されています！



■人吉球磨小中学校作品展に写真の作品が出品されました。どの学年も工夫を凝らした作品を作っています。

↑相良南小学校HP

作品は、2月16日（金）午前まで人吉クラフトパーク石野公園に展示してあります。

